

涼しくなると動き出す虫対策

暑い夏も終わり、涼しい日が増えてきました。今年はまとまった雨もあり、私たちにとっても、虫にとっても大変な夏でした。

虫は真夏の暑い時期はエネルギーを大幅に消費してしまい、雨の日は翅が濡れると飛べなくなってしまうので、涼しく、雨が止むまでじっとしているものが多いです。そんな虫がこの時期になると活発に動き出します。

そこで今回はそんな虫の中でも特に飛翔虫を早期駆除するためのライトトラップを紹介します。

DS（ディーエス）キャッチャー、DSキャッチャーLEDは、従来の捕虫器に比べ、たくさんの虫を捕獲します（表1参照）。とても薄型で狭い場所にも設置しやすいものとなっています。また、よりコンパクトなDSキャッチャーminiもあります。

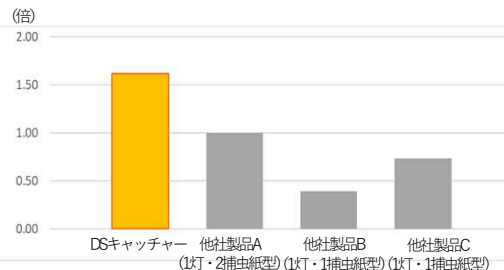


図1 DSキャッチャーと他捕虫器の捕虫数比較 (他社製品Aを1.0としたとき)

特に弊社ではLED捕虫器（DSキャッチャーLED）をお勧めします。LEDは高価なイメージがありますが、定期交換のランプ代もレンタル料金に含まれます。また、LEDは、ガラス不使用なので、衝撃や振動にも強いものになります。

捕虫器は設置する場所や位置、向きで捕獲効率が大きく変わる為、設置をご検討の際は、お気軽に弊社担当者へご相談ください。

捕虫力◎ 超薄型◎
従来の捕虫器に比べ設置も簡単です。

コンパクトでシックなデザインなので、店舗や虫の発生が疑われる場所に仮設置するなど、用途は様々。



●DSキャッチャーLED

●DSキャッチャー

●DSキャッチャーmini

随時開催、受付中!!

オンラインセミナー

HACCPのツボ



今月の

豆知識

アニサキスってなに？

数年前までは、食中毒の発生件数1、2位といえばノロウイルスやカンピロバクターでした。しかし近年では、アニサキスによる食中毒件数が増えてきています。2021年7月31日までの厚生労働省への報告では、197件中98件がアニサキス、33件がカンピロバクター、28件がノロウイルスによる食中毒でした。

アニサキスは、多くの魚介類の内臓に寄生している寄生虫です。魚が活着している間は多くが内臓に寄生していますが、魚が死亡し数時間が経過すると身に移動します。これを誤って食べてしまうと、腹痛や吐き気

を引き起こします。アニサキスは加熱、冷凍することで簡単に死滅しますが、酢漬けや醤油、わさび等では死なないので注意してください。市販の切り身などは記載通りに調理し、丸々1匹を調理する場合は目視で十分確認しましょう。アニサキスは図のように透明な見た目をしていますが、生きている間に身に移動すると、魚の免疫作用で黒いシストと呼ばれる膜に包まれています。見つけた際は必ず除去して食べましょう。図1 アニサキス 図2,3 シストに包まれたアニサキス



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢